

# 「移動図書館車」をご存知ですか

今月は移動図書館からのおすすめ!!

## 児童書



**真冬の天使**  
イルカ 話・絵  
(小学館)

天使の名前はそらちゃん。出掛けるときは確かに着ていくのだけれど、帰ってくるときは裸んぼう。なぜなのでしょう…?

## すべての犬に里親を!

今西 乃子 著  
(講談社)



1995年1月17日の阪神・淡路大震災。名前が残されることもなく多くの犬たちが死んでいった中、1,556頭の犬を保護。最後の1頭の命を守るために…。

## 一般書

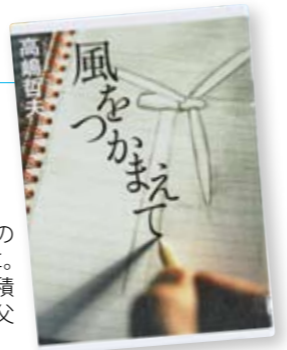


**とんび**  
重松 清 著  
(角川書店)

幼いころに親と離別したヤスに長男が生まれた。それはようやく手に入れた温もりだった。しかしその幸福は…。わが子の幸せを願う父親の姿を描いた長編小説。

## 風をつかまえて

高嶋 哲夫 著  
(日本放送出版協会)



起死回生の町おこしとして、町の小さな鉄工所が「風車」を造ることに。しかし、予算・技術など問題は山積み…。地域と家族の再生をかけた父と子の姿を描く。

は本を手に取り、親子ともども心を落ち着かせる時間をつくるのも良いことだと思います。皆さまもこれを機に移動図書館を利用して親子の触れ合いの場をつくってみたいかがでしょうか。



▲坊野さんご家族

私が、移動図書館のことを知ったのはこの「広報薩摩川内」がきっかけでした。それまでは、図書館を走り回る子どもたちを気にしながら本を借りていたのですが、今では散歩がてらに、移動図書館を利用しています。移動図書館の良い点をいくつか上げると、まず、小さい子どもがバスの周りで騒いでも気にならない点です。バスの運転手のお兄さんや貸し出ししてくださるお姉さんが優しく声を掛けてくださるので、安心して本を借りることができます。また、読みたい本があればリクエストしておくことで次の巡回の時に持ってきてくださるので便利です。今では小学生と幼稚園児になった子どもたちも月に1回の移動図書館を楽しみにしており、私が借りてきた本を見て「今日バスの図書館が来たの?」読んで、読んで「どうれいそうに本を持ってきます。世の中が非常に慌ただしい時代だけに、たまには本を手に取り、親子ともども心を落ち着かせる時間をつくるのも良いことだと思います。皆さまもこれを機に移動図書館を利用して親子の触れ合いの場をつくってみたいかがでしょうか。

**利用者の声**  
坊野さんご家族にお聞きしました。  
移動図書館の良い点をいくつか上げると、まず、小さい子どもがバスの周りで騒いでも気にならない点です。バスの運転手のお兄さんや貸し出ししてくださるお姉さんが優しく声を掛けてくださるので、安心して本を借りることができます。また、読みたい本があればリクエストしておくことで次の巡回の時に持ってきてくださるので便利です。今では小学生と幼稚園児になった子どもたちも月に1回の移動図書館を楽しみにしており、私が借りてきた本を見て「今日バスの図書館が来たの?」読んで、読んで「どうれいそうに本を持ってきます。世の中が非常に慌ただしい時代だけに、たまには本を手に取り、親子ともども心を落ち着かせる時間をつくるのも良いことだと思います。皆さまもこれを機に移動図書館を利用して親子の触れ合いの場をつくってみたいかがでしょうか。



遠泳を終え達成感にあふれた笑顔を見せる生徒たち

# 海陽中学校

創立31年 校訓「向学 剛健 敬愛」

共に学び、共に育ち、共に生きる  
(共学・共育・共生)

## 歴史もゆかしふるさとに親しく香る鹿の子百合

私たちの海陽中学校は、下甕島の手打地区にあります。本年度創立31年目を迎え、現在、手打小学校と子岳小学校から入学してきた25人(男子8人・女子17人)の生徒が学んでいます。

教育目標には「心豊かでたくましく、自ら学び自ら考える海陽中の生徒」を掲げています。この目標の達成を目指して、「共に学び・共に育ち・共に生きる」を合い言葉に、生徒と教職員が一体となり、地域に根差した、明るく活気あふれる教育を推進しています。甕島には高校が無いので、生徒たちは中学校を卒業すると、親元を離れ自立(島立)しなければなりません。本校では、生徒たちが「島立」する前に、困難に負けず、たくましく生きていける力を身に付けさせる教育を行っています。また、「島立」した後も、必ずふるさとが生徒たちを励ましてくれると考え、地域に根差した学校行事も大切にしています。

そこで、体力と精神力を鍛えるとともに、郷土愛を育むために、毎年7月に「手打湾横断遠泳大会」を行っています。これは、開校当初から実施している伝統行事です。生徒たちは、この日のために学校のプールで毎日のように泳力を鍛え、予行も含めて2回遠泳にチャレンジします。大会当日は、保護者の伴走船や伴泳のご協力、堤防からは地域の方々の声援をいただきながら、生徒たちはふるさとの青い海を泳ぎ切ります。そこには、大きな達成感とたくましく成長した生徒たちの姿があります。



## VOICE

ほんむら やすひろ  
海陽中学校 本村 安弘 校長

小規模の中学校ですが、生徒は学習や行事に精一杯取り組んでいます。中学校卒業と同時に甕島を離れる子どもたちのために、より琴線に触れる郷土教育を充実させ、甕島で生まれ育ったことに誇りの持てる生徒の育成を、保護者・地域の皆さまのご協力をいただきながら、さらに展開していきたいと考えています。

平成22年度 おはなしひろばのご案内  
幼児・小学生とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせなどを行っています。ぜひ、お越しください。

図書館名	曜日	時間
中央図書館 (会場は中央公民館)	毎月第2・4水曜日	14:30 ~ 15:00
樋脇分館	毎月第4金曜日	10:00 ~ 11:00
入来分館	毎月第3土曜日	10:30 ~ 11:00
東郷分館	毎月第3水曜日	16:00 ~ 16:30
祁答院分館	毎月第2・4水曜日	16:00 ~ 16:30
里分館	毎月第2・3火曜日	16:00 ~ 16:30
上甕分館	毎月第3火曜日	10:30 ~ 11:30

\*参加料は無料です。

毎月23日は子どもと一緒に読書の日

— 問合せ先 —

- 中央図書館 ☎(22) 3542
- 樋脇分館 ☎(38) 0009
- 入来分館 ☎(44) 3111
- 東郷分館 ☎(42) 0053
- 祁答院分館 ☎(21) 8755
- 里分館 ☎(3) 2958
- 上甕分館 ☎(2) 0001
- 下甕分館 ☎(7) 0311
- 鹿島分館 ☎(4) 2211